

大草谷津田いきものの里 自然観察会

クイズをあてて虫博士

岡田敬子（千葉市）

日 時：2011年7月3日（日）10：30～12：00 天候：晴

参加者：16名（大人10名、子供6名）

担当指導員：松本美千代・岡田敬子

「大草谷津田いきものの里」について主旨、概要を説明。スズメバチや事故に対する注意と暑いので水分を取り熱中症の予防をするようお願いした。

入り口広場から杉林、めじろんばを右に、林縁、ハンノキ林のベンチまで虫探しをしながら進むことにした。一人一人に名前を入れた丸いカードを渡し見つけた虫の名をテープに書き貼り付けながら順路をたどった。

入口の草地にショウウリョウバッタ、オンブバッタなどの幼虫がたくさんいた。

杉林ではトホシテントウ、ニホンマイマイ、ミスジ、ヒダリマキなどのカタツムリがアオキの葉っぱの上に見られた。ベンチの前の田んぼでチョウやトンボ、バッタなどを網で捕まえて観察した。観察した後、空に放した。

終了30分前にクイズを出した。子どもたちは苦労して作った11問のクイズを次々正解しネタ切れが心配なほどでした。虫好きな子供にとって優しすぎたようです。



見つけた虫の名前のテープを貼り付けたカードとクイズの正解でもらったペンダントを首にぶら下げ、Yさんがシユロの葉で作ったバッタを手に子供たちは満面の笑顔でした。

参加者から「豊かな里山が近くにあり色々な生き物がいることに驚いた」と感想をいただいた。